

平成26(2014)年度  
埋蔵文化財緊急発掘調査概報

中ノ坪遺跡  
吉志部遺跡  
豊嶋郡条里遺跡  
片山屋敷廻遺跡  
朝日町遺跡  
垂水遺跡  
榎坂遺跡  
吹田須恵器窯跡No.2  
藏人遺跡

平成27(2015)年3月

吹田市教育委員会

平成 27 年 12 月 4 日

大阪大学附属図書館 学術情報整備室 電子コンテンツ担当 様

いつもお世話になっております。さて、遺跡リポジトリ関連の吹田市教育委員会発行の調査報告書 2 冊を送付いたします。お手数をおかけしますが、よろしくお願ひ申し上げます。

吹田市教育委員会文化財保護課 西本安秀

## 序

吹田市では、昭和49（1974）年度の国庫補助事業による埋蔵文化財の発掘調査の実施以来、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、市内各所において数多くの発掘調査を行ってまいりました。これらの発掘調査から得た成果につきましては、吹田の歴史を知る上での重要な資料であり、報告書の刊行をはじめ、文化財説明板の設置や、博物館での展示・講座などを通じて、市民の皆様にお伝えできるように努めております。

平成26（2014）年度おきましては、事業者をはじめとする多くの方々のご協力を得て、国庫補助事業として市内所在の遺跡について9件の発掘調査を実施しました。本市教育委員会はこれからも文化財の保護行政により一層強く取り組みたいと考えております。市民の皆様におかれましても本市の文化財保護行政に対して、今後ともご理解・ご協力賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

平成27（2015）年3月

吹田市教育委員会

教育長 梶 谷 尚 義

## 例　言

1. 本書は平成26(2014)年度国庫補助事業として実施した、中ノ坪遺跡、吉志部遺跡、豊嶋郡条里遺跡、片山屋敷廻遺跡、朝日町遺跡、垂水遺跡、榎坂遺跡、吹田須恵器窯跡No2、藏人遺跡の発掘調査をまとめたものである。

2. 発掘調査地点は次のとおりである。

中ノ坪遺跡	岸部南2丁目47-1の一部
吉志部遺跡	岸部北1丁目355-7
豊嶋郡条里遺跡	泉町2丁目3083-1、-2、-7、-8
片山屋敷廻遺跡	片山町3丁目24-1、3091-1、281-1の一部
朝日町遺跡	昭和町1259-17
垂水遺跡	円山町64-4、-8
榎坂遺跡	江坂町3丁目96-2
吹田須恵器窯跡No2	岸部北4丁目3-4
藏人遺跡	農津町931-2

3. 発掘調査の整理作業は吹田市岸部北4丁目10番1号、吹田市立博物館で実施し、資料の保管も同所において行っている。

4. 本文の執筆は、第9章を賀納章雄・堀口健二が、他を賀納が行い、編集を賀納が行った。

## 発掘調査参加者名簿

調査主体　吹田市教育委員会

調査指導　大阪府教育委員会文化財保護課

調査担当　吹田市教育委員会文化財保護課　西本安秀、賀納章雄、堀口健二

調査補助員　小川里美、木船安紀子、高井明美

## 目 次

第 1 章	平成 26(2014) 年度埋蔵文化財発掘調査について	1
第 2 章	中ノ坪遺跡の発掘調査	3
第 3 章	吉志部遺跡の発掘調査	5
第 4 章	豊嶋郡条里遺跡の発掘調査	7
第 5 章	片山屋敷廻遺跡の発掘調査	9
第 6 章	朝日町遺跡の発掘調査	11
第 7 章	垂水遺跡の発掘調査	13
第 8 章	榎坂遺跡の発掘調査	15
第 9 章	吹田須恵器窯跡No.2 の発掘調査	17
第10章	蔵人遺跡の発掘調査	19

## 挿図目次

第 1 図	発掘調査地点位置図	2	第 15 図	調査区平面図	12
第 2 図	中ノ坪遺跡調査地周辺図	3	第 16 図	土層断面図	12
第 3 図	調査区平面図	4	第 17 図	垂水遺跡調査地周辺図	13
第 4 図	土層断面図	4	第 18 図	調査区平面図	14
第 5 図	吉志部遺跡調査地周辺図	5	第 19 図	土層断面図	14
第 6 図	調査区平面図	6	第 20 図	榎坂遺跡調査地周辺図	15
第 7 図	土層断面図	6	第 21 図	調査区平面図	16
第 8 図	豊嶋郡条里遺跡調査地周辺図	7	第 22 図	土層断面図	16
第 9 図	調査区平面図	8	第 23 図	吹田須恵器窯跡No.2 調査地周辺図	17
第 10 図	土層断面図	8	第 24 図	調査区平面図	18
第 11 図	片山屋敷廻遺跡調査地周辺図	9	第 25 図	土層断面図	18
第 12 図	調査区平面図	10	第 26 図	蔵人遺跡調査地周辺図	19
第 13 図	土層断面図	10	第 27 図	調査区平面図	20
第 14 図	朝日町遺跡調査地周辺図	11	第 28 図	土層断面図	20

## 図版目次

図版1	中ノ坪遺跡	21
図版2	吉志部遺跡 1	22
図版3	吉志部遺跡 2	23
図版4	豊嶋郡条里遺跡 1	24
図版5	豊嶋郡条里遺跡 2	25
図版6	片山屋敷廻遺跡 1	26
図版7	片山屋敷廻遺跡 2	27
図版8	片山屋敷廻遺跡 3	28
図版9	片山屋敷廻遺跡 4	29
図版10	朝日町遺跡 1	30
図版11	朝日町遺跡 2	31
図版12	朝日町遺跡 3	32
図版13	朝日町遺跡 4	33
図版14	垂水遺跡 1	34
図版15	垂水遺跡 2	35
図版16	垂水遺跡 3	36
図版17	垂水遺跡 4	37
図版18	榎坂遺跡 1	38
図版19	榎坂遺跡 2	39
図版20	吹田須恵器窯跡No.2 1	40
図版21	吹田須恵器窯跡No.2 2	41
図版22	吹田須恵器窯跡No.2 3	42
図版23	吹田須恵器窯跡No.2 4	43
図版24	吹田須恵器窯跡No.2 5	44
図版25	吹田須恵器窯跡No.2 6	45
図版26	藏人遺跡 1	46
図版27	藏人遺跡 2	47

## 第1章 平成26(2014)年度埋蔵文化財発掘調査について

平成26(2014)年度は、中ノ坪遺跡、吉志部遺跡、豊嶋郡条里遺跡、片山屋敷廻遺跡、朝日町遺跡、垂水遺跡、榎坂遺跡、吹田須恵器窯跡No2、蔵人遺跡の9遺跡9件の発掘調査を実施した。

中ノ坪遺跡は、岸部南2丁目・3丁目に広がる、縄文時代～中世の複合遺跡である。これまでの発掘調査では、縄文時代草創期の有舌尖頭器や古墳時代の建物跡等の資料が得られている。今回の調査は、中ノ坪遺跡の中央付近に位置する岸部南2丁目47-1の一部において実施した。

吉志部遺跡は、岸部北1丁目に所在する、旧石器・縄文時代・中世の遺跡である。これまでに数多くの旧石器が出土するとともに、礫群が確認されている。今回の発掘調査は、吉志部遺跡の東側に位置する岸部北1丁目355-7において実施した。

豊嶋郡条里遺跡は、泉町1丁目・2丁目に広がる、縄文・弥生・古墳時代・中世の遺跡である。当遺跡では豊嶋郡条里的東限ラインにあたると考えられる鎌倉時代の水路跡が確認されている。今回の発掘調査は、豊嶋郡条里遺跡の西側に位置する泉町2丁目3083-1、-2、-7、-8において実施した。

片山屋敷廻遺跡は、片山町3丁目に所在する古墳時代・中世の遺跡である。平成5年の試掘調査で鎌倉時代のピット・落ち込み等を検出して発見された遺跡であり、その後発掘調査は行われておらず、遺跡の性格など不明な点が多い。今回の発掘調査は、片山屋敷廻遺跡の北側周辺地である片山町3丁目24-1、3091-1、281-1の一部において試掘調査として実施した。

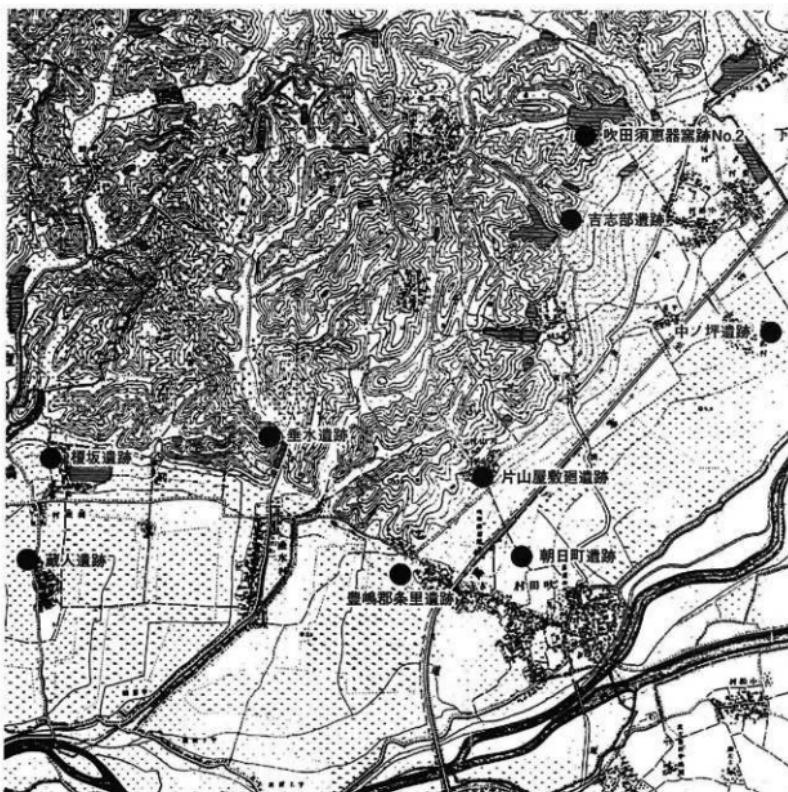
朝日町遺跡は、朝日町に位置する弥生・古墳・平安時代・中世の遺跡である。当遺跡は平成14年に発見された遺跡で、幅広い時代の遺物を含む包含層が確認されているが、遺構については認められていない。今回の発掘調査は、朝日町遺跡の北東側周辺地に当たる昭和町1259-17において試掘調査として実施した。

垂水遺跡は、円山町・垂水町1丁目・2丁目に広がる旧石器時代から中世の遺跡である。とくに丘陵上に弥生時代の建物跡の展開が確認されており、高地性集落跡として知られている。今回の発掘調査は、遺跡の東側丘陵裾付近に当たる円山町64-4、-8において実施したものである。

榎坂遺跡は、江坂町3丁目に広がる弥生時代から中世かけての遺跡である。土地区画整理事業に伴い平成13～15年にかけて実施した試掘調査・発掘調査により、遺跡包蔵地が現在の範囲まで広がることが判明した。今回の発掘調査は、榎坂遺跡の南東側周辺地に当たる江坂町3丁目96-2において試掘調査として実施したものである。

吹田須恵器窯跡No2は、岸部北4丁目に所在する古墳時代後期の須恵器窯跡である。付近一帯は、吹田市内でも数少ない里山の環境を残す紫金山公園として整備されており、当窯跡は丘陵斜面上に構築されている。今回は、昭和47年に関西大学によって発掘調査が行われ、その後埋め戻されて現状保存されている当窯跡の状況確認をすること目的に実施したものである。

藏人遺跡は、豊津町・江坂町2丁目・3丁目に広がる弥生時代から中世にかけての遺跡である。当遺跡は、中世の史料に登場する藏人村と関連があると考えられており、これまでの発掘調査でも中世の遺構・遺物が多数検出されている。今回の発掘調査は、遺跡の南側に当たる豊津町931-2において実施したものである。



第1図 発掘調査地点位置図 [1:30,000 明治18年測量地図]

## 第2章 中ノ坪遺跡の発掘調査

### (1) 調査の経過

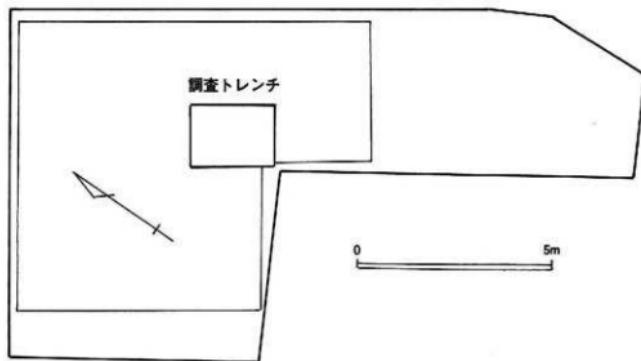
今回の発掘調査は、個人住宅の建築に伴い事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成26(2014)年5月26日に調査トレンチを1ヶ所(約3.5m<sup>2</sup>)設定し、重機を用いて実施した。

### (2) 調査の成果

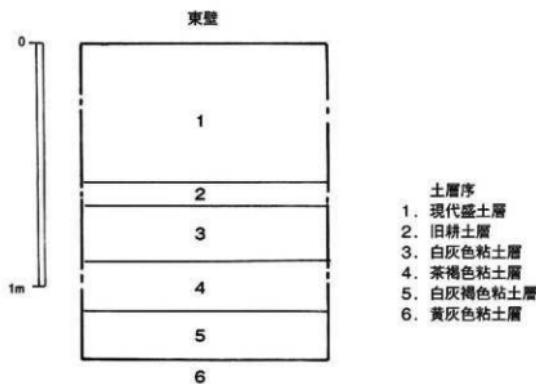
調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、旧耕土層[第2層]、白灰色粘土層[第3層]、茶褐色粘土層[第4層]、白灰褐色粘土層[第5層]、黄灰色粘土層[第6層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第2図 中ノ坪遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第3図 調査区平面図



第4図 土層断面図

### 第3章 吉志部遺跡の発掘調査

#### (1) 調査の経過

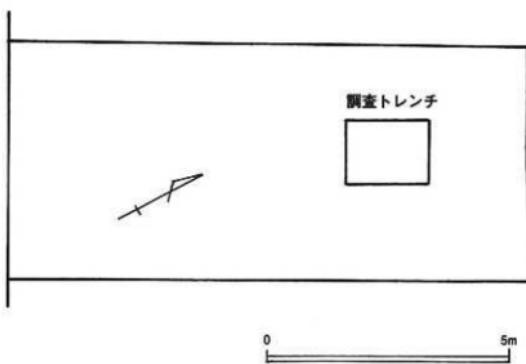
今回の発掘調査は、個人住宅の建築に伴い事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成26(2014)年7月7日に調査トレンチを1ヶ所(約2.5m)設定し、重機を用いて実施した。

#### (2) 調査の成果

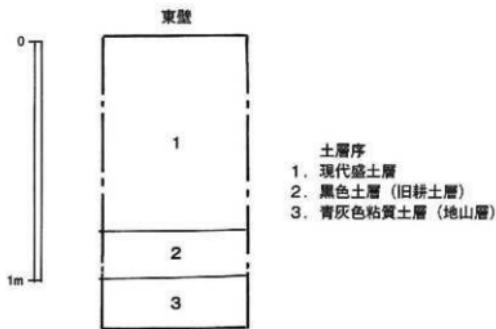
調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、旧耕土層[第2層]、地山層である青灰色粘質土層[第3層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物は確認されなかった。



第5図 吉志部遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第6図 調査区平面図



第7図 土層断面図

## 第4章 豊嶋郡条里遺跡の発掘調査

### (1) 調査の経過

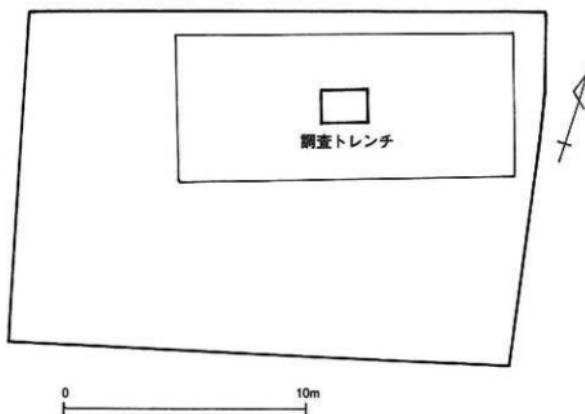
今回の発掘調査は、個人住宅の建築に伴い事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成26(2014)年10月7日に調査トレンチを1ヶ所(約3.2m<sup>2</sup>)設定し、重機を用いて実施した。

### (2) 調査の成果

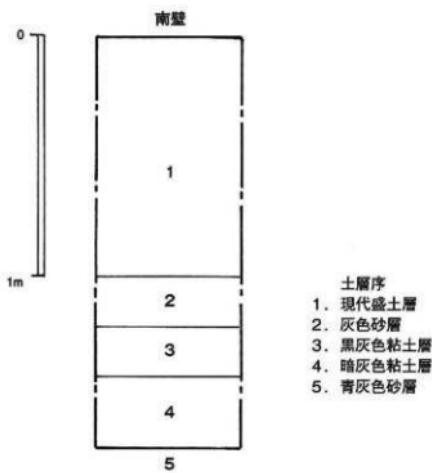
調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、灰色砂層[第2層]、黒灰色粘土層[第3層]、暗灰色粘土層[第4層]、青灰色砂層[第5層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第8図 豊嶋郡条里遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第9図 調査区平面図



第10図 土層断面図

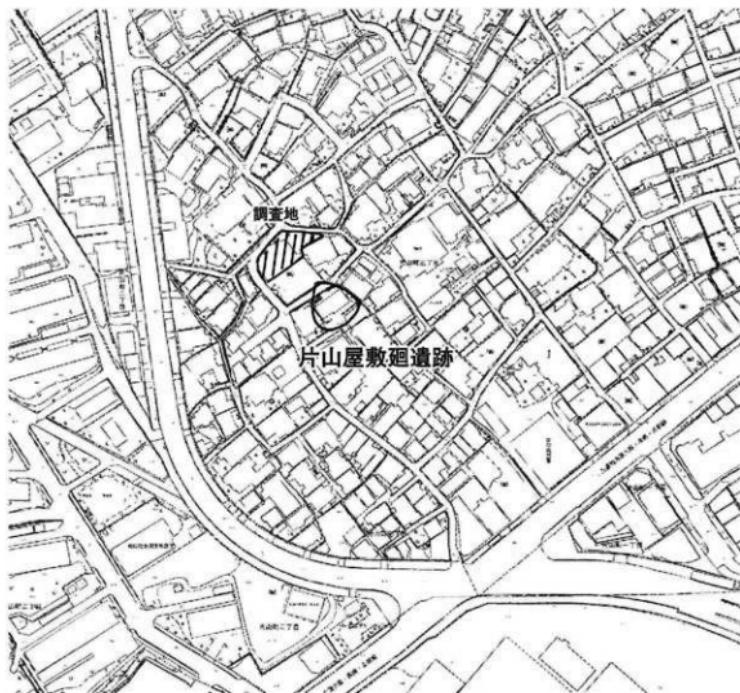
## 第5章 片山屋敷廻遺跡の発掘調査

### (1) 調査の経過

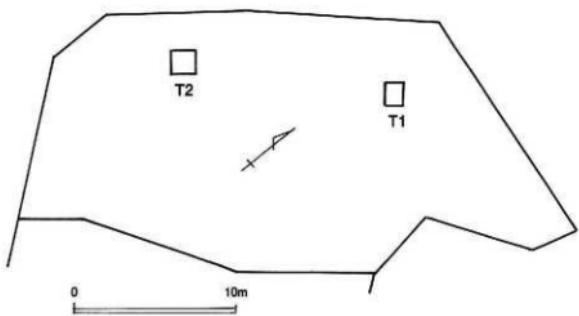
今回の発掘調査は、片山屋敷廻遺跡の周辺地となる当調査地において共同住宅の建築が計画されたことにより事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成27(2015)年1月19日に調査トレンチを2ヶ所(約4.5m<sup>2</sup>)設定し、重機を用いて実施した。

### (2) 調査の成果

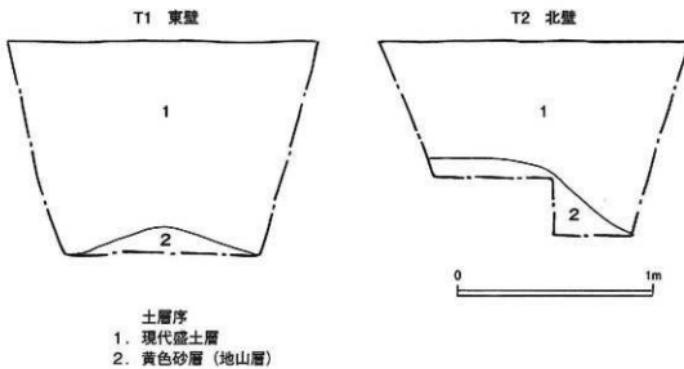
調査トレンチを掘削したところ、両トレンチとも現代盛土層[第1層]直下で、地山層である黄色砂層[第2層]の堆積が認められ、明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第11図 片山屋敷廻遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第12図 調査区平面図



第13図 土層断面図

## 第6章 朝日町遺跡の発掘調査

### (1) 調査の経過

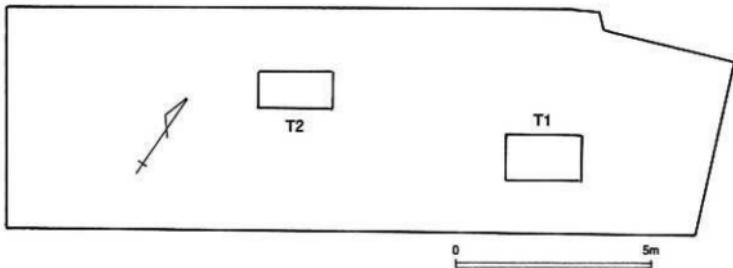
今回の発掘調査は、朝日町遺跡の周辺地となる当調査地において店舗付個人住宅の建築が計画されたことにより事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成27(2015)年1月20日に調査トレンチを2ヶ所(約4.8m<sup>2</sup>)設定し、重機を用いて実施した。

### (2) 調査の成果

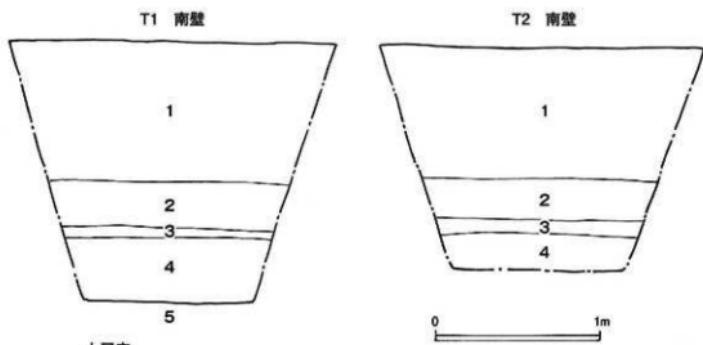
調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、暗灰色粘土層[第2層]、暗褐色粘土(5cm程度の疊多く混じる)層[第3層]、暗褐色砂疊層[第4層]、暗青灰色砂疊層[第5層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第14図 朝日町遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第15図 調査区平面図



- 土層序
1. 現代盛土層
  2. 暗灰色粘土層
  3. 暗褐色粘土（5cm程度の礫多く混じる）層
  4. 暗褐色砂礫層（地山層）
  5. 暗青灰色砂礫層（地山層）

第16図 土層断面図

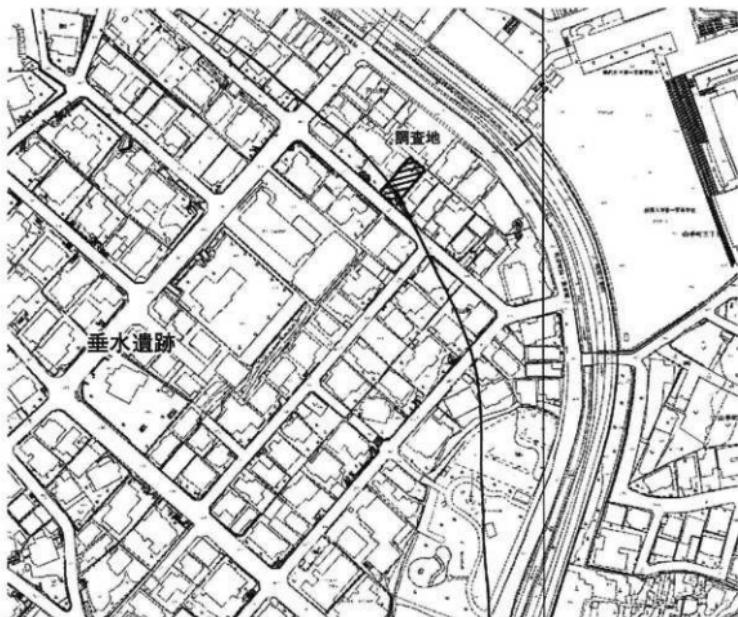
## 第7章 垂水遺跡の発掘調査

### (1) 調査の経過

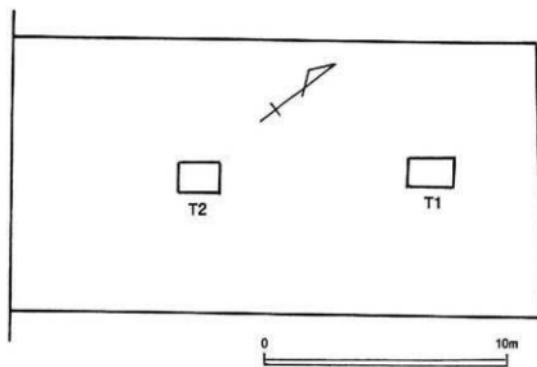
今回の発掘調査は、個人住宅建築に伴う宅地造成工事にあたり事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成27(2015)年2月3日に調査トレンチを2ヶ所(約5.1m<sup>2</sup>)設定し、重機を用いて実施した。

### (2) 調査の成果

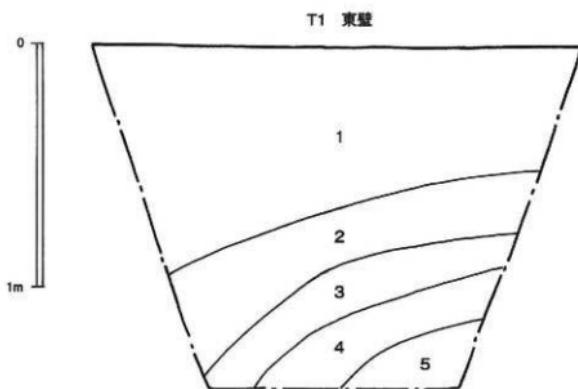
調査トレンチを約1.4mの深さまで掘削したところ、T2においては現代盛土層[第1層]が認められるのみであったが、T1では、現代盛土層[第1層]以下、黄色砂層[第2層]、灰色砂質土層[第3層]、灰色砂質土と黄色砂の混合層[第4層]、黄色砂層[第5層]が調査区の北東方向へ落ち込むように傾斜して堆積していた。これは、丘陵裾部に位置する調査区の地形に沿うものと考えられる。そして、T1では、第3層内において他所からの流れ込みによるものと考えられる弥生土器の細片が出土した。しかし、他に明確な遺構・遺物は確認されなかった。



第17図 垂水遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第18図 調査区平面図



- | 土層序       |                  |
|-----------|------------------|
| 1. 現代盛土層  | 4. 灰色砂質土と黄色砂の混合層 |
| 2. 黄色砂層   | 5. 黄色砂層          |
| 3. 灰色砂質土層 |                  |

第19図 土層断面図

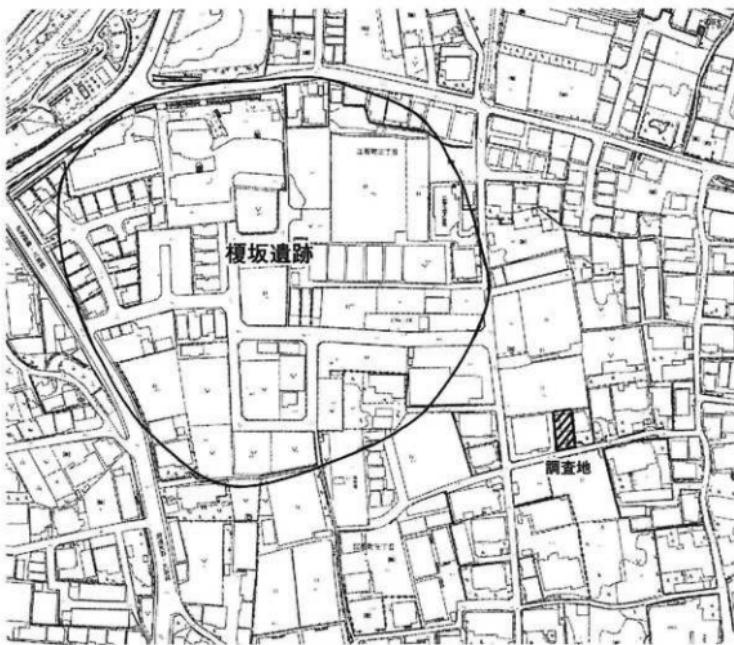
## 第8章 榎坂遺跡の発掘調査

### (1) 調査の経過

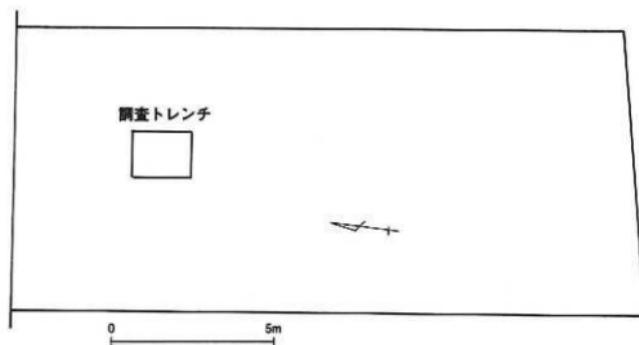
今回の発掘調査は、榎坂遺跡の周辺地となる当調査地において個人住宅の建築が計画されたことにより事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成27(2015)年2月19日に調査トレンチを1ヶ所(約2.3m<sup>2</sup>)設定し、重機を用いて実施した。

### (2) 調査の成果

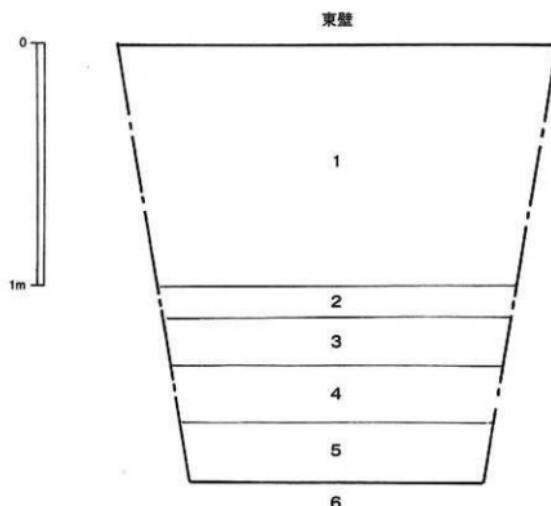
調査トレンチを掘削したところ、両トレンチとも現代盛土層[第1層]以下、灰色砂(やや暗)層[第2層]、淡灰色粘土と灰色砂の混合層[第3層]、灰色砂層[第4層]、暗灰色粘土と橙色粘土と灰色砂の互層[第5層]、暗青灰色砂質土層[第6層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第20図 榎坂遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第21図 調査区平面図



- 土層序
- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 現代盛土層         | 4. 灰色砂層              |
| 2. 灰色砂(やや暗)層     | 5. 暗灰色粘土と褐色粘土と灰色砂の互層 |
| 3. 淡灰色粘土と灰色砂の混合層 | 6. 暗青灰色砂質土層          |

第22図 土層断面図

## 第9章 吹田須恵器窯跡No.2の発掘調査

### (1) 調査の経過

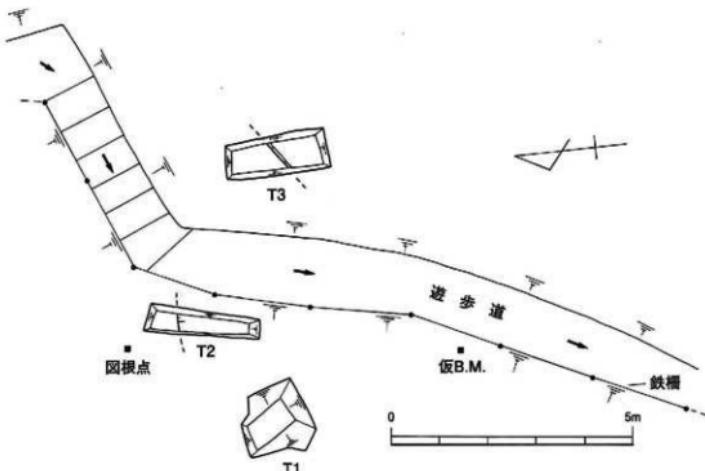
吹田須恵器窯跡No.2は、昭和47(1972)年の関西大学による発掘調査後、埋め戻されて現状保存されているが、以来40年以上経過しており、その位置もやや不明確となっている。そのため、今回の発掘調査は、今後の保存と活用を図るためにも、窯の位置と保存状況の確認を目的に実施したものである。調査は、平成27(2015)年2月18日から2月23日にかけて調査トレンチを3ヶ所(約4.7m<sup>2</sup>)設定し、人力掘削により実施した。

### (2) 調査の成果

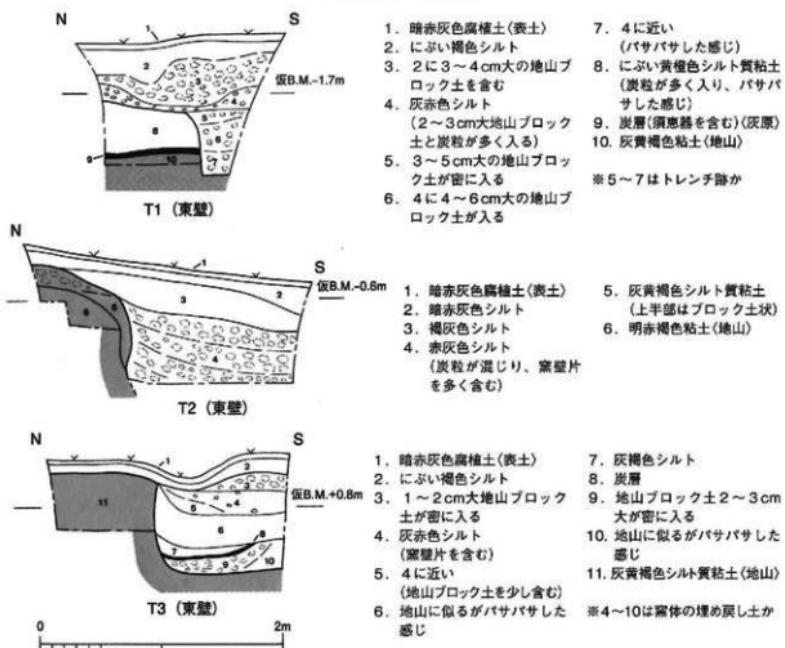
調査トレンチを掘削したところ、各トレンチにおいて地山層(T1:灰黄褐色粘土層、T2:明赤褐色粘土層、T3:灰黄褐色シルト質粘土層)を切り込む形で、地山ブロック土を含む粘土あるいはシルトの堆積が認められた。これらの落ち込み土中からは、窯壁片及び少量の須恵器片が出土したが、T3においてはビニール袋が入っていた。このことから、この落ち込み土は、昭和47年時の調査埋戻し土であることが確認できた。しかし、掘削を進めても、被熱によって硬化した窯体自体を認めるることはできず、またT1においては一部灰層の堆積が認められた。このことから、今回設定した調査範囲は、窯跡下方の灰原付近に当たるものと考えられ、これにより、窯体自体の位置をおおよそ特定することが可能となった。



第23図 吹田須恵器窯跡No.2調査地周辺図



第24図 調査区平面図



第25図 土層断面図

## 第10章 蔵人遺跡の発掘調査

### (1) 調査の経過

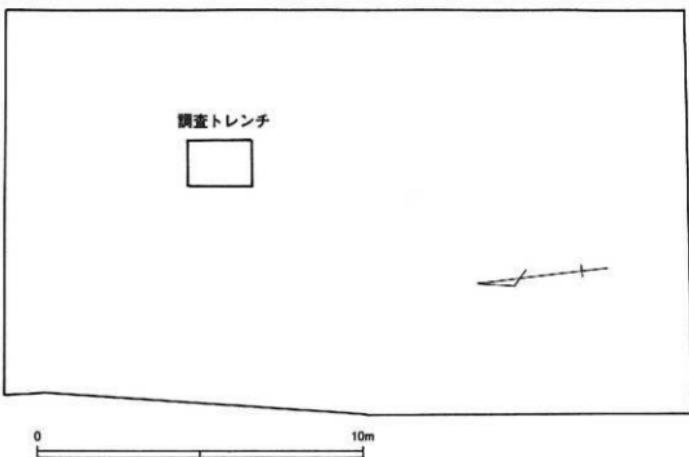
今回の発掘調査は、個人住宅の建築に伴い事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成27(2015)年2月23日に調査トレンチを1ヶ所(約3m<sup>2</sup>)設定し、重機を用いて実施した。

### (2) 調査の成果

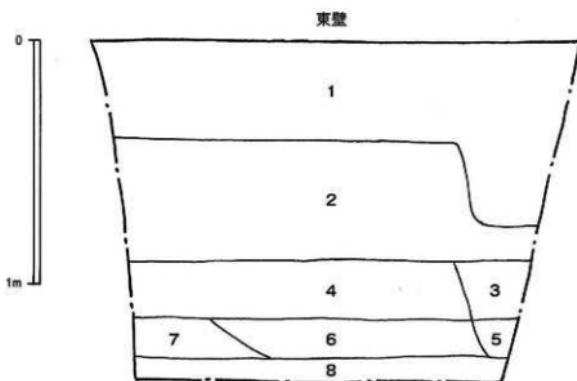
調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、黄褐色、灰色、灰白色の砂質土層、砂層[第2～8層]の堆積が認められ、これらの土層中からは中世の土師器・瓦器の細片が5点出土した。しかし、これらは他所から流れ込んだ二次的な堆積によるものと考えられ、他に明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第26図 蔵人遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第27図 調査区平面図



- | 土層序             |          |
|-----------------|----------|
| 1. 現代盛土層        | 5. 灰白色砂層 |
| 2. 黄褐色砂質土層      | 6. 黄褐色砂層 |
| 3. 灰色砂質土層       | 7. 灰白色砂層 |
| 4. 黄褐色砂質土(やや暗)層 | 8. 灰色砂層  |

第28図 土層断面図



調査地近景（西から）



調査トレンチ近景（南から）

図版2  
吉志部遺跡1



調査トレンチ近景（北東から）



調査トレンチ近景（北から）



調査トレンチ近景（南から）



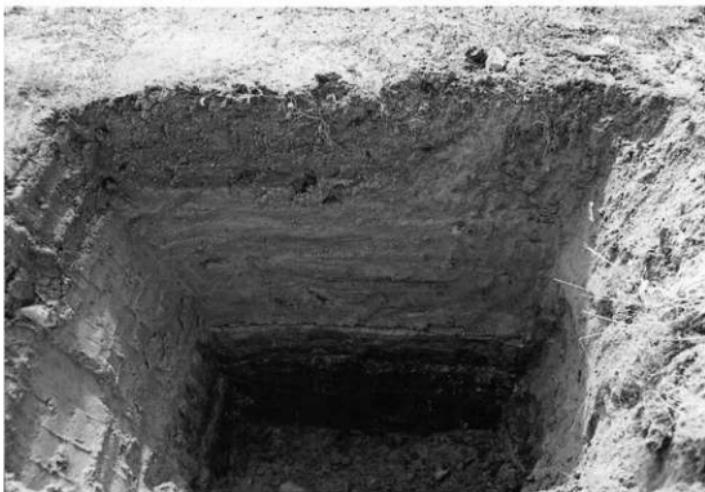
調査トレンチ東壁（西から）



調査地近景（西から）



調査トレンチ近景（東から）



調査トレンチ南壁（北から）



埋め戻し作業風景（南から）

図版 6  
片山屋敷廻遺跡 1



調査地近景（東から）



T1近景（北から）

図版7 片山屋敷廻遺跡2



T1近景（南から）



T1東壁（西から）

図版 8  
片山屋敷廻遺跡 3



T2近景（北から）



T2北壁（南から）

図版9 片山屋敷廻遺跡4



T2東壁(西から)



T2埋め戻し作業風景(北から)



調査地近景（東から）



T1 挖削風景（東から）



T1近景（西から）



T1南壁（北から）



T2掘削風景（南から）



T2近景（東から）



T2南壁（北から）



調査地埋め戻し後（東から）



調査地近景（南から）



T1掘削風景（北から）



T1近景(北から)



T1東壁(西から)



T2掘削風景（北西から）



T2近景（北西から）

図版 17 垂水遺跡 4



T2 東壁（西から）



調査地埋め戻し後（南から）

図版  
18

横坂遺跡  
1



調査地近景（南から）



調査トレンチ掘削風景（東から）



調査トレンチ近景（北から）



調査トレンチ東壁（西から）



調査地遠景（南西から）



調査地近景（南西から）



T1灰層（西から）



T1東壁（西から）



T2近景（北西から）



T2東壁（西から）



T3近景（北西から）



T3東壁（西から）



調査風景（人力掘削）



調査風景（人力掘削）

図版 25 吹田須恵器窯跡 No. 2 6

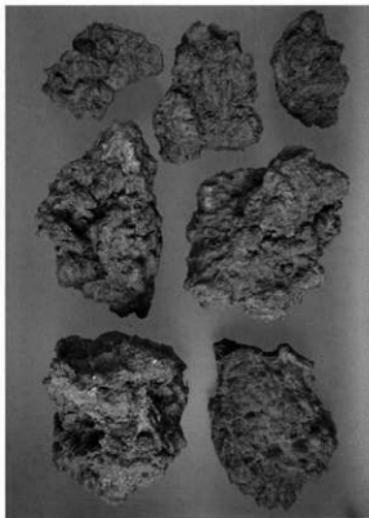
T3出土窯壁片



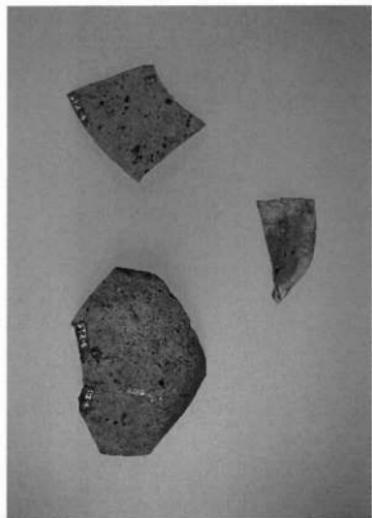
T1出土窯壁片



T2出土窯壁片



T1・T3出土須恵器





調査地近景（南から）



調査トレンチ近景（北西から）



調査トレンチ東壁(西から)



調査地埋め戻し後(北西から)

# 報告書抄録

ふりがな 書名	へいせい26(2014) ねんどまいぞうぶんかざいきんきゅうはくつちょうさがいほう 平成26(2014)年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
副書名	中ノ坪遺跡 吉志部遺跡 豊嶋郡条里遺跡 片山屋敷廻遺跡 朝日町遺跡 垂水遺跡
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編集者名	賀納章雄・福口健二
編集機関	吹田市教育委員会
所在地	〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号 TEL(06)6384-1231
発行年月日	西暦 2015年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 度数	東經 度数	調査期間	調査面積	調査原因
中ノ坪遺跡	吹田市岸部南2-47-1の一部	27205 97	34°46'19"	135°32'28"	20140526	3.5	確認調査
吉志部遺跡	吹田市岸部北1-355-7	27205 45	34°46'45"	135°31'40"	20140707	2.5	確認調査
豊嶋郡条里遺跡	吹田市泉町2-3083-12,7,8	27205 95	34°45'35"	135°30'55"	20141007	3.2	確認調査
片山屋敷廻遺跡	吹田市片山町3-24-1,309-1-281-1の一部	27205 111	34°45'59"	135°31'15"	20150119	4.5	試掘調査
朝日町遺跡	吹田市昭和町1259-17	27205 144	34°45'44"	135°31'34"	20150120	4.8	試掘調査
垂水遺跡	吹田市内山町64-4,8	27205 86	34°46'05"	135°30'16"	20150203	5.1	確認調査
榎坂遺跡	吹田市江坂町3-96-2	27205 96	34°46'03"	135°29'26"	20150219	2.3	試掘調査
吹田須恵器窯跡No 2	吹田市岸部北4-3-4	27205 34	34°47'04"	135°31'45"	20150218- 20150223	4.7	現状確認
藏人遺跡	吹田市豊津町931-2	27205 85	34°45'49"	135°29'29"	20150223	3	確認調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中ノ坪遺跡	集落遺跡	縄文～中世	なし	なし	なし
吉志部遺跡	集落遺跡	旧石器・中世	なし	なし	なし
豊嶋郡条里遺跡	集落遺跡	中世	なし	なし	なし
片山屋敷廻遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
朝日町遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	旧石器～中世	なし	弥生土器	なし
榎坂遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	なし	なし
吹田須恵器窯跡No 2	生産遺跡	古墳	なし	須恵器・窯盤片	なし
藏人遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	土師器・瓦器	なし

平成26(2014)年度  
埋蔵文化財緊急発掘調査概報

中ノ坪遺跡  
吉志部遺跡  
豊嶋郡条里遺跡  
片山屋敷廻遺跡  
朝日町遺跡  
垂水遺跡  
榎坂遺跡  
吹田須恵器窯跡No.2  
藏人遺跡

平成27(2015)年3月31日  
編集 吹田市泉町1丁目3番40号  
発行 吹田市教育委員会

この報告書は300部作成し、一部当たりの単価は562円です。

